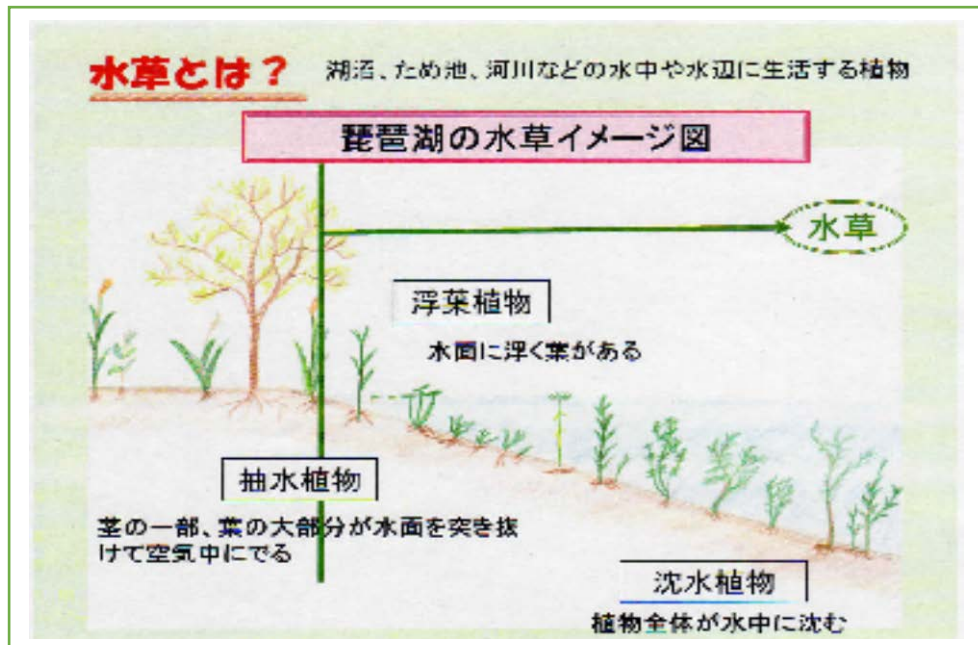


自然家族事業「湖の日」講座のまとめ（2015・8・8）I

I 水草の見分け方と標本づくり（講師；滋賀県環境科学研究センター 古田世子氏）

① 水草とは



② 水草の生活形にはどんなものがある？

水草の生活形にはどんなものがある？

水草は4つの生活形に分類される

A. 根が水底に固着しているもの

① 茎の一部、葉の大部分が水面を突き抜けて空気中にする
→ 抽水植物（ヨシ、ガマ、クログワイ）

② 水面に浮く葉がある
→ 浮葉植物（ヒツジグサ、ジュンサイ、ヒシ）

③ 植物全体が水中に沈む
⇒ 沈水植物（オオカナダモ、クロモ）

B. 根が水底に固着せずに浮遊しているもの
→ 浮遊植物（ウキクサ、ホテイアオイ）

出典：滋賀の水草・図解ハンドブック（滋賀の理科教材研究委員会 編）

③ 琵琶湖でよくみられる水草（今回は沈水植物について学ぶ）

コカナダモ

トチカガミ科 オオカナダモ属
北米原産の外来種
1961年に琵琶湖北湖で発見された

【形】
基本的に3枚の葉がついています。
茎の一部がちぎれ、これが水中をただよび、節のところで新しく根を出してふえます。



センニンモ

ヒルムシロ科 ヒルムシロ属


【形】
茎が葉をしっかりとれています。
葉の先は丸くなっています。
冬になっても枯れることはありません。



サンネンモ

ヒルムシロ科 ヒルムシロ属
琵琶湖固有種

【形】
茎が葉を少しだけだしています。
葉の先はちがっています。
冬になっても枯れることはありません。



ネジレモ

トチカガミ科 セキシユウ属
琵琶湖固有種

【形】
らせん状にまきくねじれることが名前の由来です。
琵琶湖固有種は、このネジレモです。比較的深いところに分布している。



エビモ

ヒルムシロ科 ヒルムシロ属

【形】
葉には葉柄がなく、葉の先は丸くなっていて、ねじれることがあります。
茎は、 ∞ 状になっています。
秋の終わり頃に越冬芽を作り冬を越します。



オオササエビモ

ヒルムシロ科 ヒルムシロ属

【形】
葉には葉柄がなく、葉の先はとがっていて、やや波うちねじれることがあります。葉の形は、狭披針形～狭長楕円形です。
茎は、丸くなっています。



ヒロハノエビモ

ヒルムシロ科 ヒルムシロ属

【形】
葉には葉柄がなく、葉の先はとがっていて、ねじれることがあります。
莖は、丸くなっています。
秋の終わり頃に種芽を作り冬を越します。



ササバモ

ヒルムシロ科 ヒロムシロ属

【形】
葉には長い葉柄があります。
琵琶湖や川に生えており、冬になると覆苔で越冬します。



マツモ

マツモ科 マツモ属

【形】
葉にはのこぎりのようなとげがあります。
根は退化して、浮遊しています。
冬になると枯れてしまうのでなかまは種子や胞芽を作って冬を過ごします。




ホザキノフサモ

アリノトウグサ科 フサモ属

【形】
葉は、扇の羽根状の切れ込んでいます。
初夏から秋にかけて水面上に茎を出して小さな花をつけます。冬も枯れずに茶色で生質します。



フラスコモ

シャジクモ科

【形】
シャジクモの仲間で、小枝が葉に分岐することでシャジクモと区別される。
苞がない



(滋賀県科学研究センター古田世子氏の配布資料より)

④ 水草の標本づくり

*水草の採集；時間の関係で「子どもが遊べる川づくりPJ」のメンバーで事前に採集し、乾燥までの作業を済ませた。



- *採集した水草を水道水でよく洗ひ、個々の水草をキッチンペーパーのような水を吸いやしい紙に広げてはさむ。(同定しやすいように配慮して広げることが大切である)
- *さらに新聞紙にはさみ、重ねて平らな所に置く。そして、水草が完全に乾燥するまで紙を毎日変える。(1週間から10日ぐらいかかる)
- *当日、古田氏の指導をお受け、参加者は各水草の同定を行って、標本につけるラベルを作成した。

水草の名前	
採集場所	
採集年月日	
採集者名	

- *最後に標本を「ラミネート紙」に挟んで完成。各参加者は北湖の水草2種類と南湖の水草2種類を選んで完成した。
- *北湖と南湖での水草の種類の違いについて (参加者の発表から)

北湖（安曇川河口付近）	南湖（柳ヶ崎）
① ホザキノフサモ	① センニンモ
② ネジレモ	② コカナダモ
③ オオササエビモ	③ ササバモ
④ オオカナダモ	④ マツモ
⑤ ササバモ、センニンモ	⑤ オオササエビモ、ネジレモ

⑤北湖と南湖の「透明度」と深層水の水温の測定

*透明度とは；水のごりの程度を表す指標として、池や湖などで測る。白い円盤を水中に沈め、見えなくなる深さと深いところから引き上げる時に見え始めた深さの中間の値を透明度とする。

*南湖（雄琴沖）；**3, 0 m**、 北湖（沖島沖）；**9, 0 m**

*沖島沖の水深50mの地点で深層水（水深40m）をくみ上げた。

水深40m；水温11, 0℃、表層水；28, 0℃

*今年は水草が例年より早くから繁茂しており、プランクトンが少ないといわれているが、例年に比べて南湖・北湖ともに透明度が大きいのはそのせいであろうか。